

経営比較分析表（平成29年度決算）

福井県公立小浜病院組合 小浜病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	ド透I訓ガ	救臨感へ災輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
-	32,339	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
296	50	8
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
100	2	456
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
270	50	320

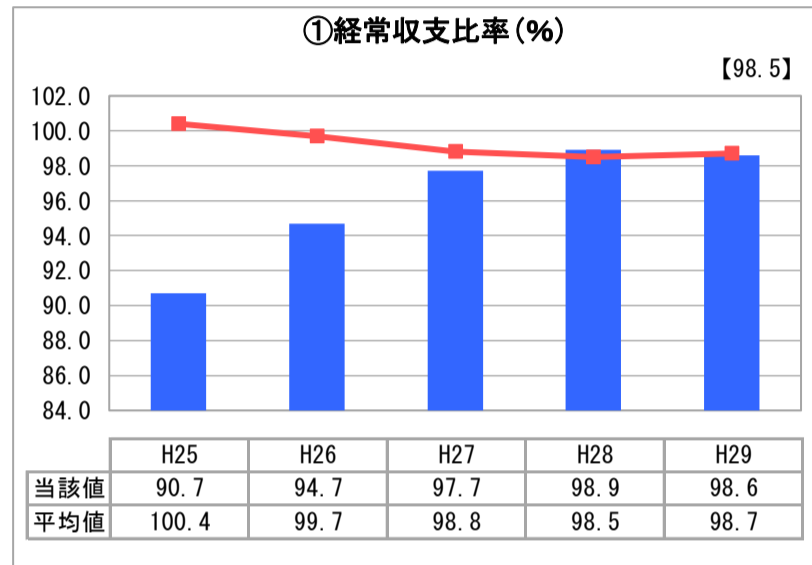
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

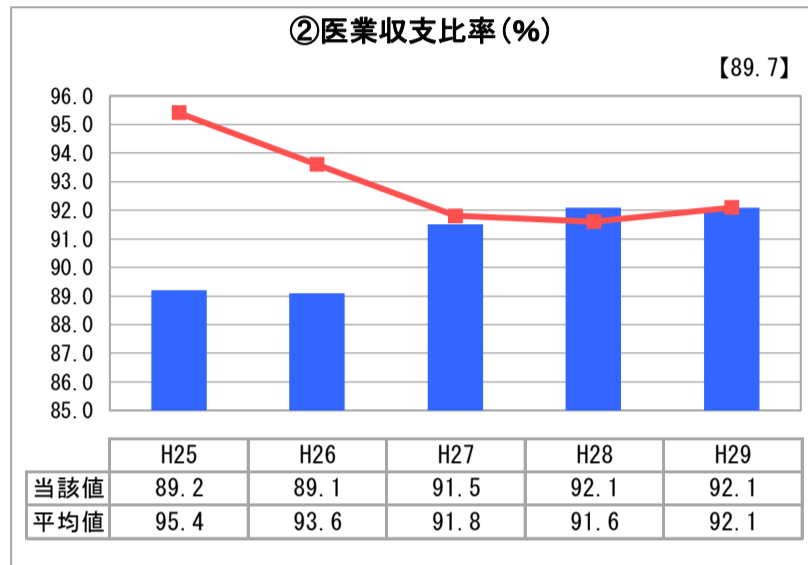
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

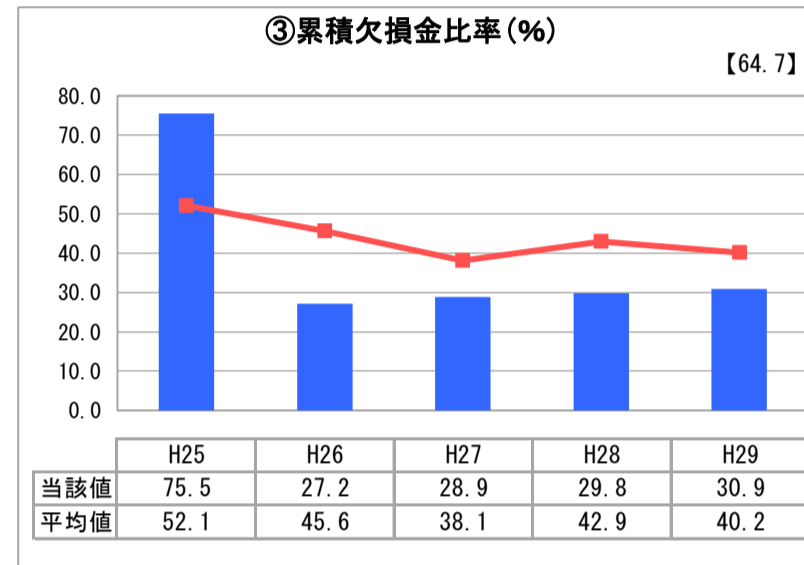
1. 経営の健全性・効率性



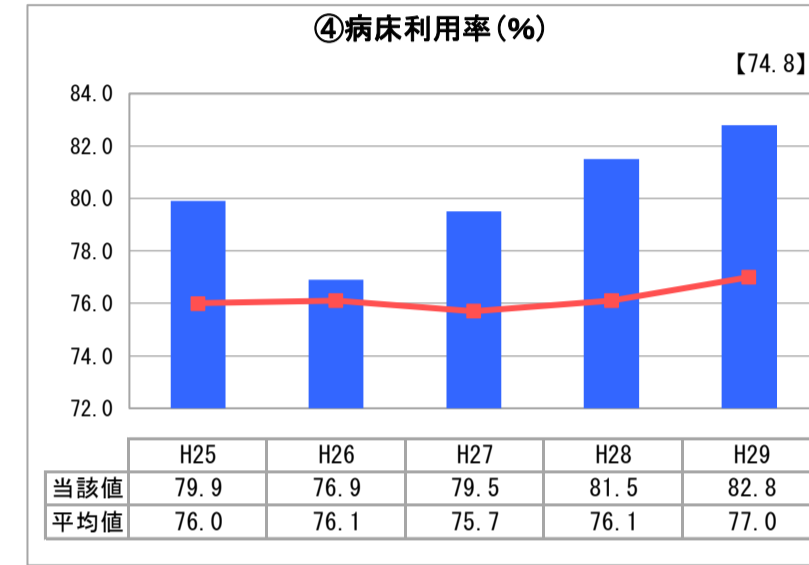
「経常損益」



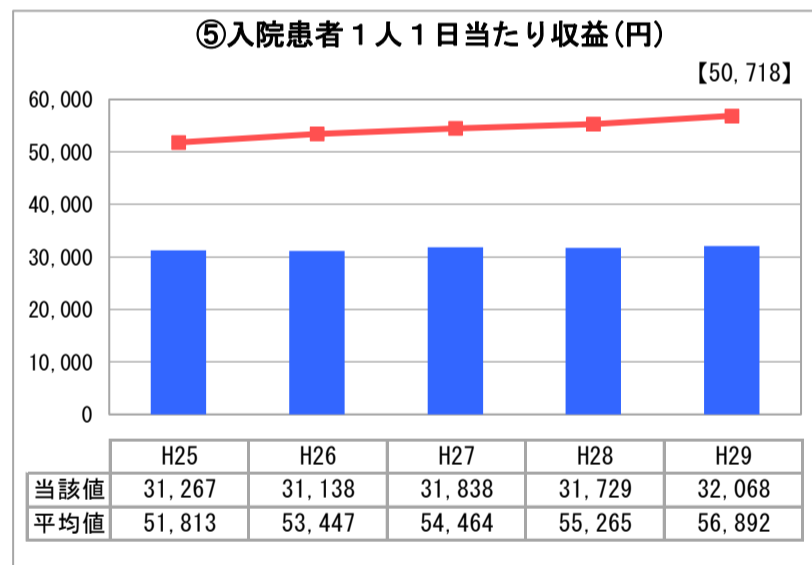
「医業損益」



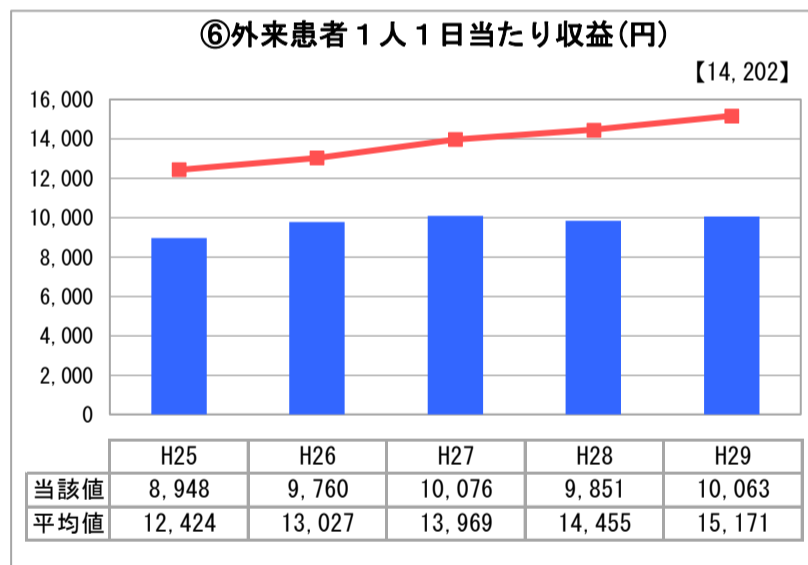
「累積欠損」



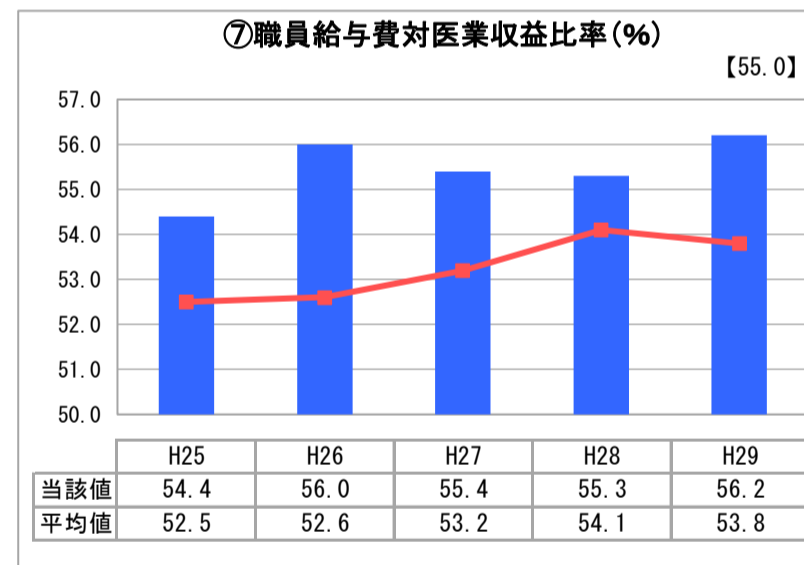
「施設の効率性」



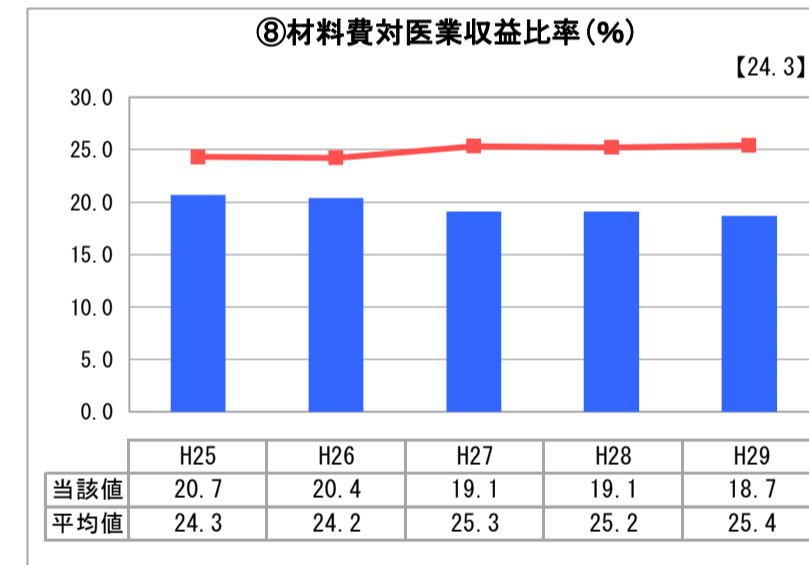
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

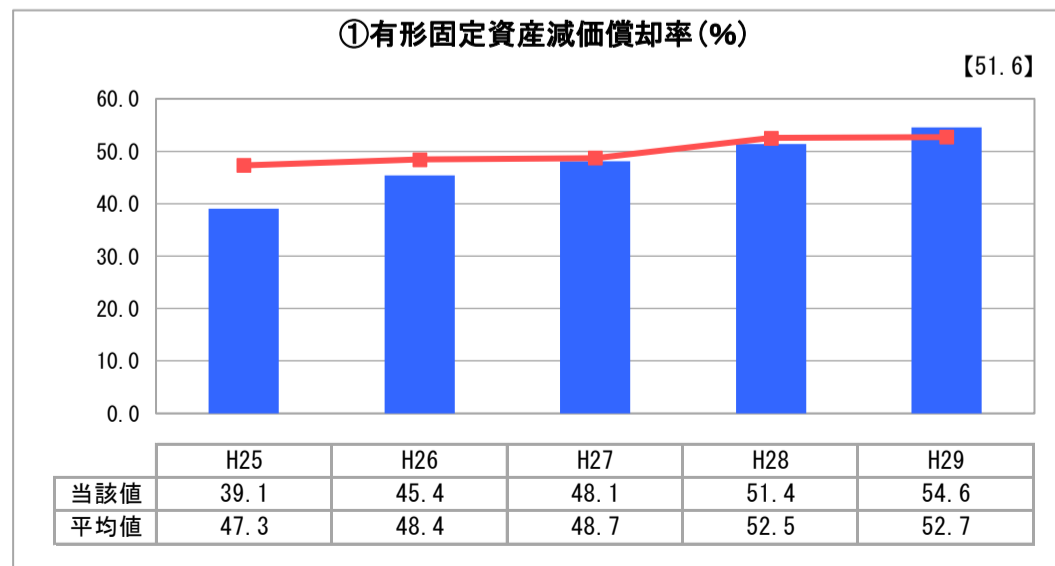


「費用の効率性①」

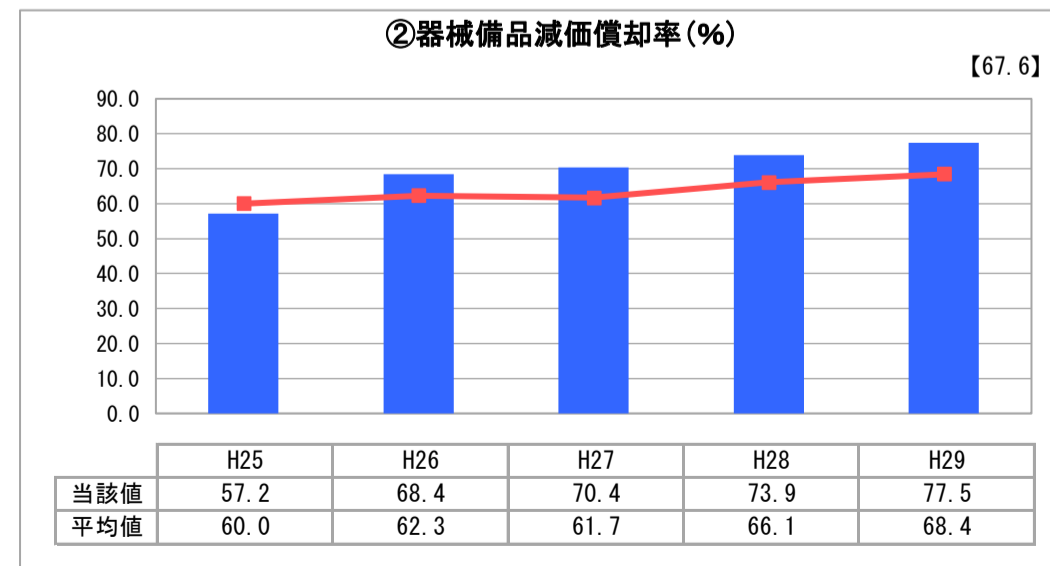


「費用の効率性②」

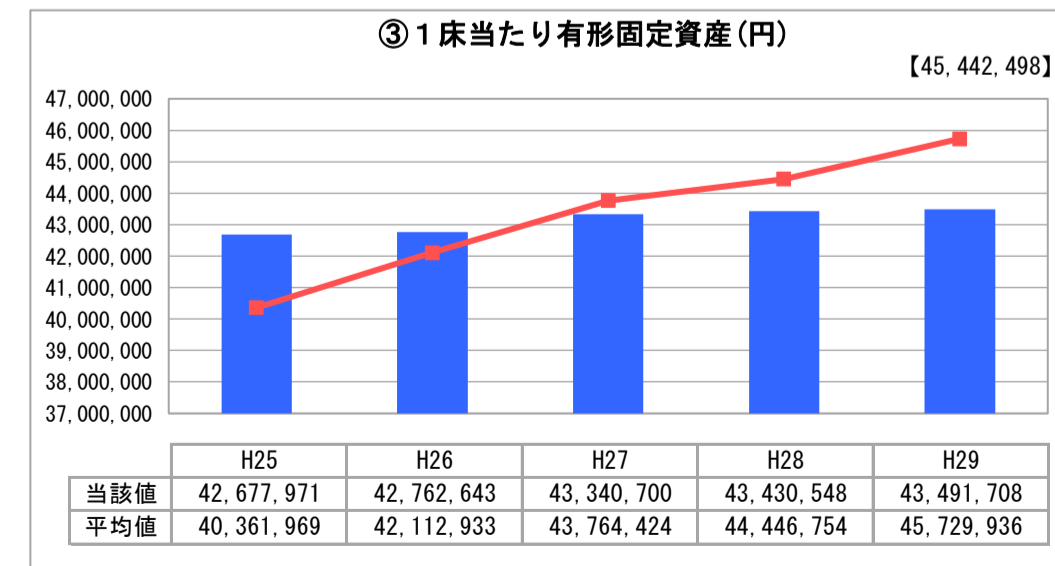
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

地域において、第1次医療から第3次医療までを担い、高度急性期医療から慢性期医療まで幅広い医療を提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新公立病院改革プラン(以下「新改革プラン」という。)を策定し、それに基づき数値目標を設定し事業運営に取り組んでいる。
 ②医業収支比率、⑥外来患者1人1日当たり収益、⑧材料費対医業収益比率は数値目標を達成している。
 ①経常収支比率、③累積欠損金比率、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑦職員給与費対医業収益比率は数値目標を達成できなかった。
 この結果を検証し、未達成項目は数値目標達成に、達成項目は更なる数値向上に引き続き取り組んでいく。

2. 老朽化の状況について

施設全体の減価償却(老朽化)の状況及び器械備品の減価償却(老朽化)の状況は類似病院を上回っている。
 これは整備事業による集中した器械更新の影響がある。日常における職員による点検、外部定期保守の実施により、修理頻度の軽減や更新サイクルの長期化を図っている。更新についても、稼働状況等収益性を十分考慮する。
 建設投資の状況は類似病院を下回っている。
 これは、上記の更新サイクルの長期化や経営状況に影響されている。今後も、新改革プランに基づき計画的かつ効率的な老朽化対策に引き続き取り組んでいく。

全体総括

新改革プランについては、地域医療構想との整合、経営状況等当院の置かれている現状や成果を検証するとともに、見直しの必要性についても随時検討をしていく。
 持続可能な経営を維持していくため、収入確保及び費用の削減に努め、単年度黒字を達成し継続させ、累積欠損金の削減を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成29年度決算）

福井県公立小浜病院組合 レイクヒルズ美方病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	訓	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	12,924	第2種該当	15:1	

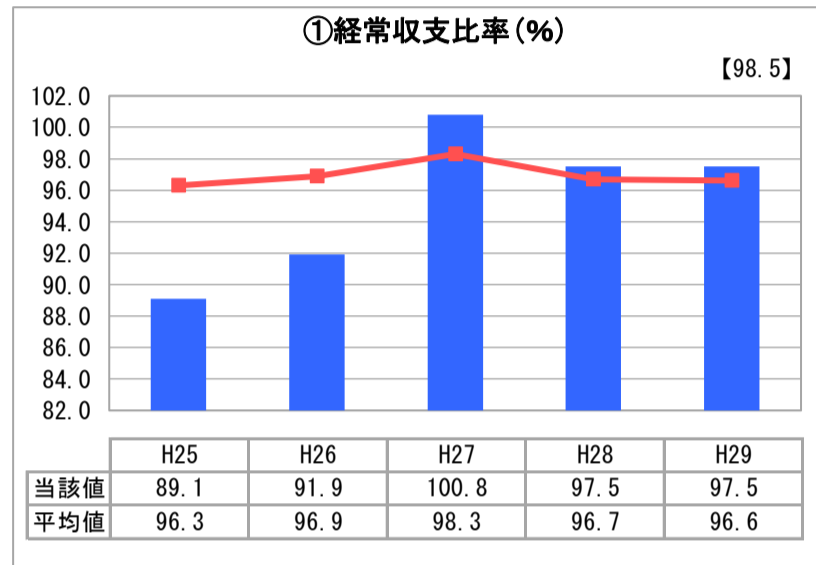
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

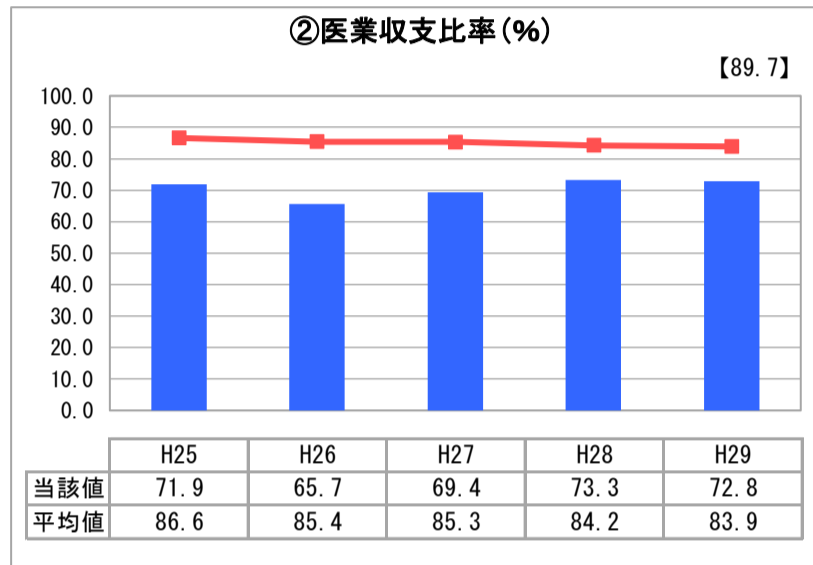
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
42	58	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	100
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
42	58	100

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	平成29年度全国平均

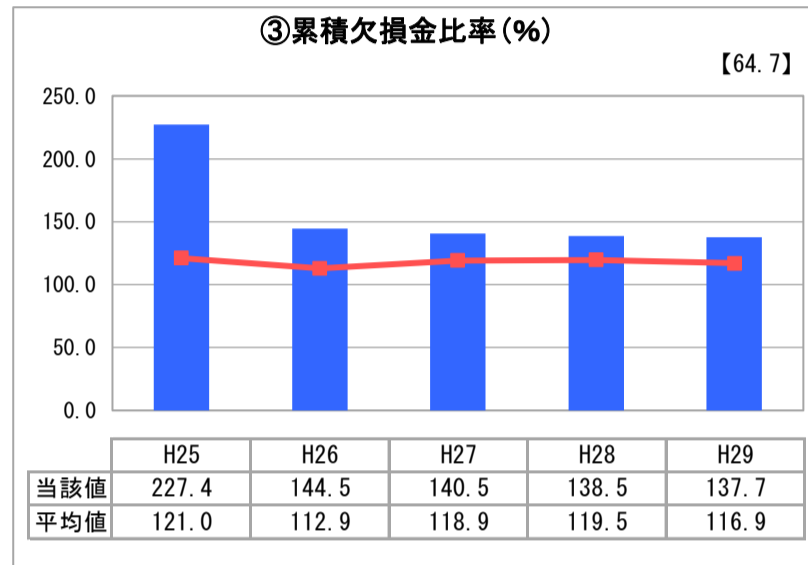
1. 経営の健全性・効率性



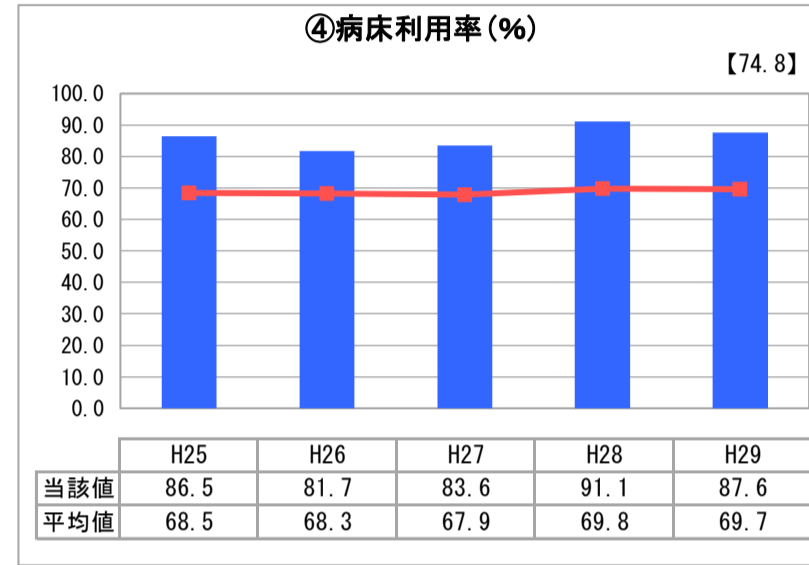
「経常損益」



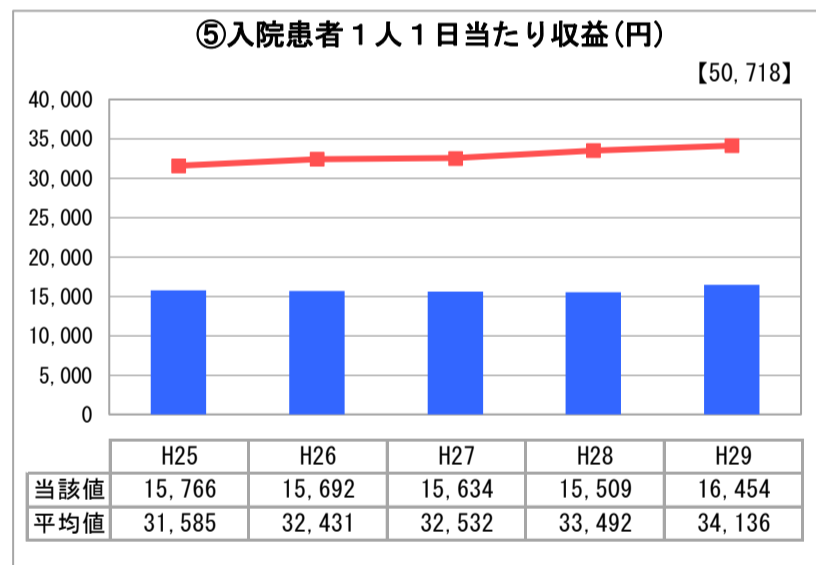
「医業損益」



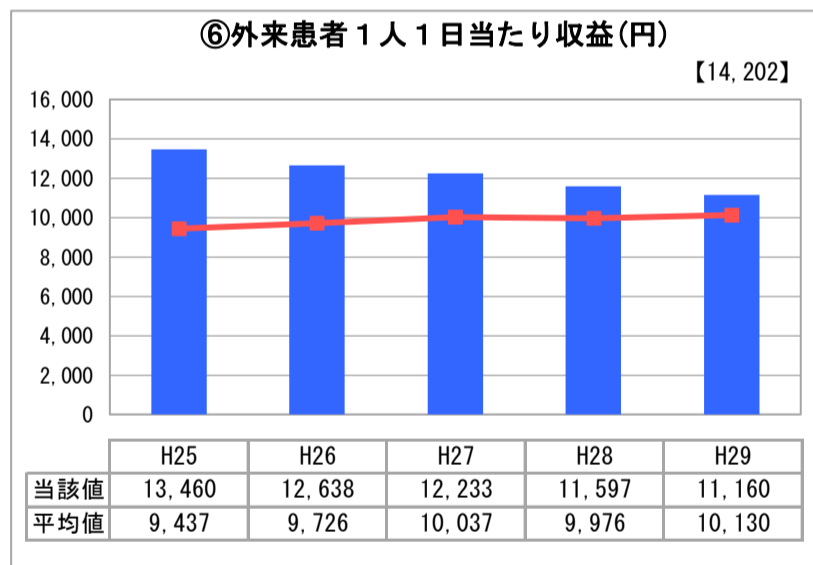
「累積欠損」



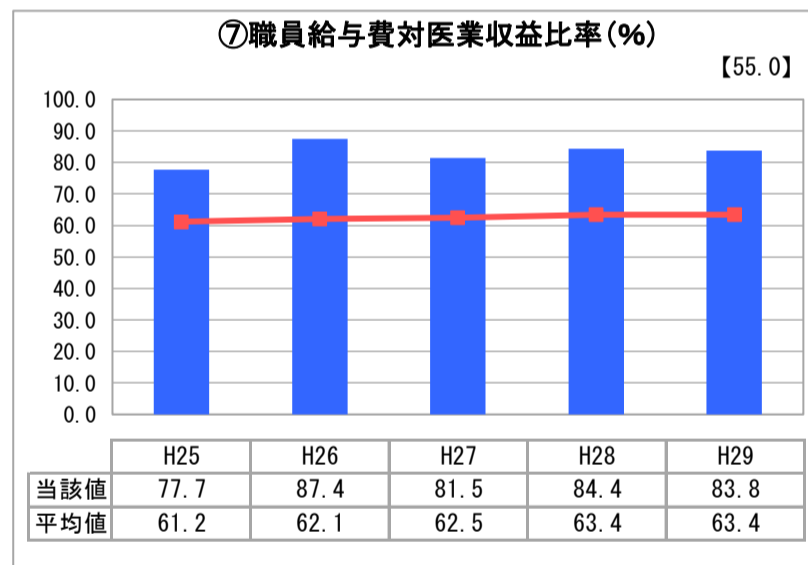
「施設の効率性」



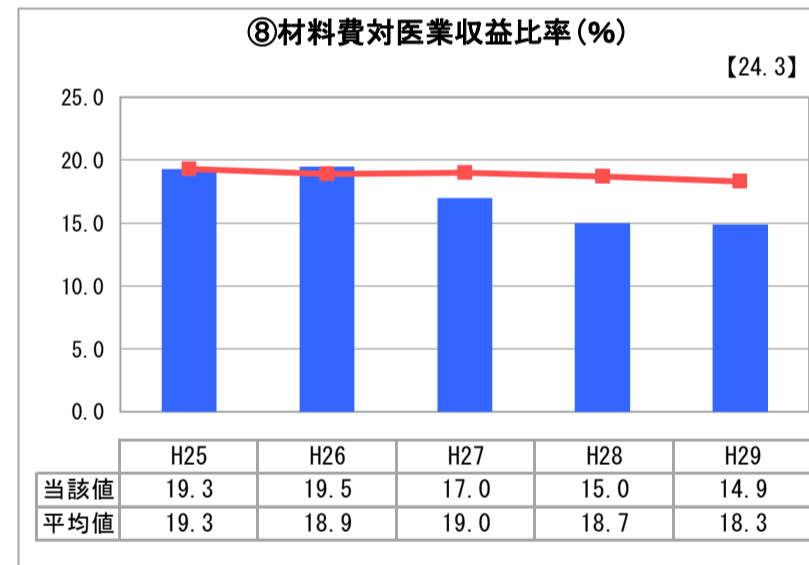
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

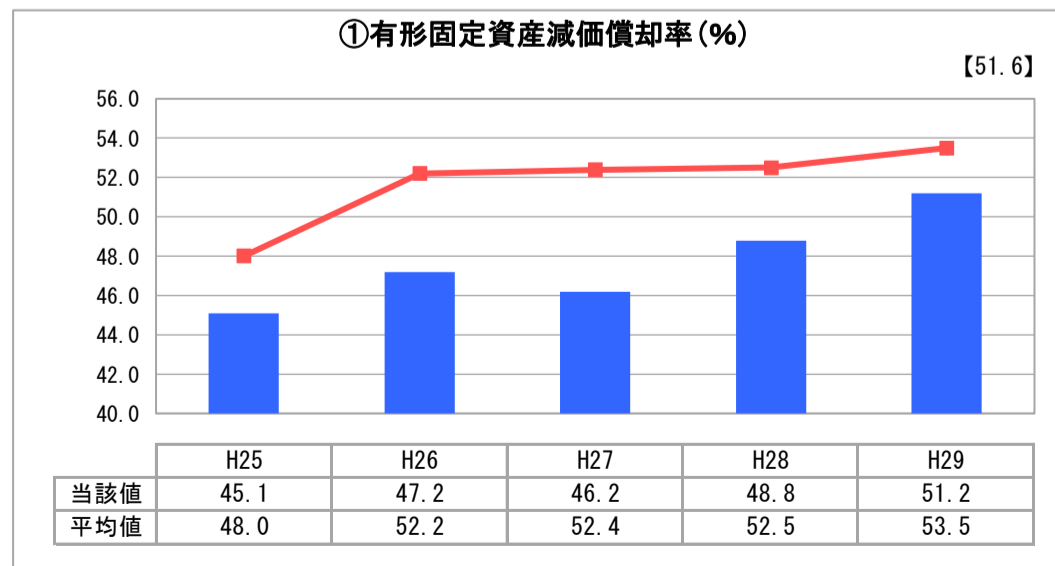


「費用の効率性①」

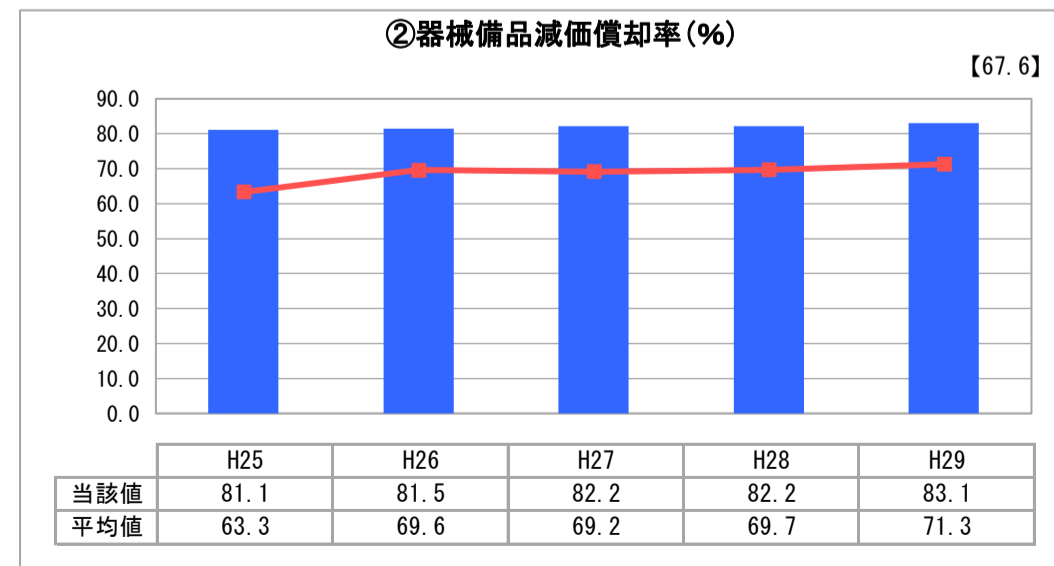


「費用の効率性②」

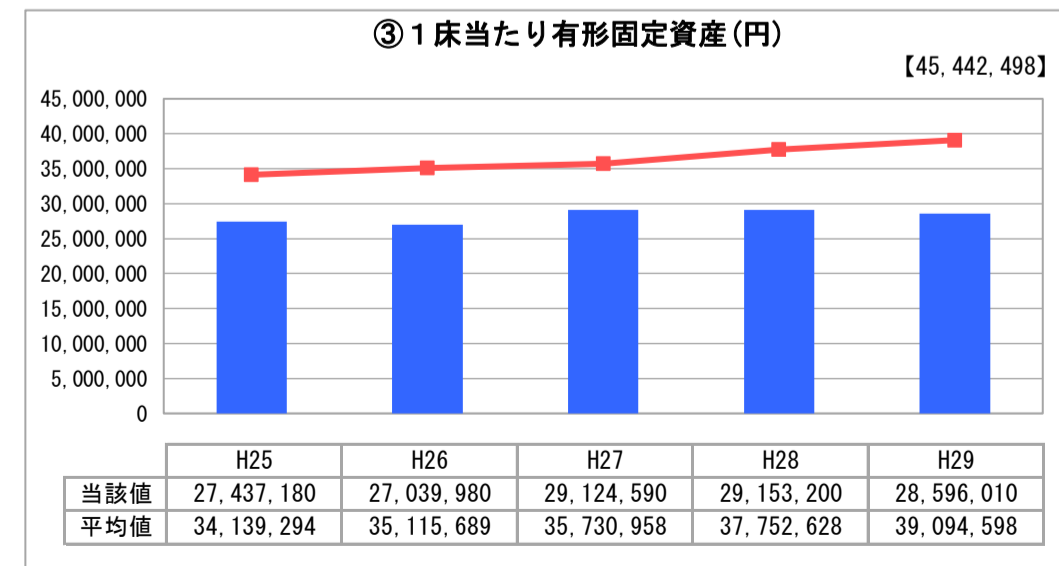
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

若狭町、美浜町で唯一の入院機能を持つ一般病院として嶺南、特に二州地域の病院、医院、診療所等との連携を図り、慢性期、維持期の医療機能を提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率は高いが入院患者1人1日当たり収益が低い収益が伸びない。慢性的な患者が多く、平均在院日数が長いため、一般病床の看護基準は地域一般入院料3であり、療養病床とともに1人1日当たり収益は低い状況が続いている。費用面では職員給与対医業収益比率が83.8%となり、前年度よりは改善しているが依然高く費用を押し上げており、結果、医業収支比率が72.8%となっている。入院患者1人1日当たり収益の増と職員給与費の減が収支改善の課題である。

2. 老朽化の状況について

機械備品減価償却率が83.1%であり、医療機器等の老朽化は年々進んでいる。しかしながら経常収支比率がマイナスであり、機器の更新は非常に厳しい状況である。

全体総括

当院の現状における病棟体制や患者構成では、大幅な収支改善は非常に厳しいものがあると考えている。当院は入院収益を中心に収益増を図り、給与費、経費等の費用を抑制することで医業収支比率を上げ、経常収支比率で100%を上回ることを目指す。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。